

<https://www.wakayama-u.ac.jp/>

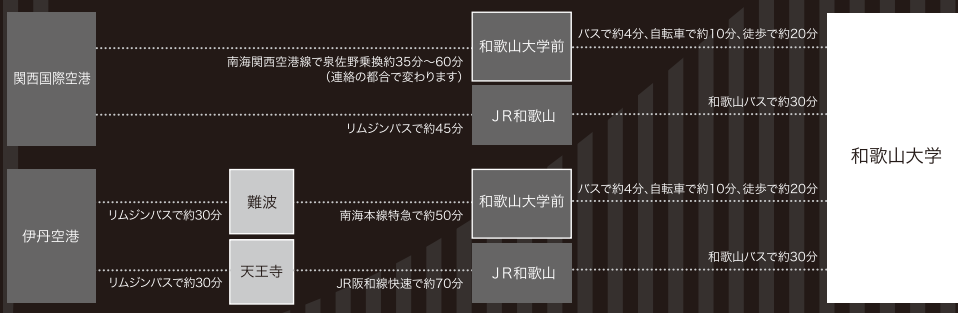
和歌山大学システム工学部  
**第3年次編入学**  
**学生募集要項**

Wakayama University

電車でのアクセス



空港からのアクセス



<https://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学システム工学部  
**第3年次編入学学生募集要項**



systems  
 engineering

systems  
 engineering

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 1. 求める学生像

システム工学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

- (1) 知識・技能
  - ・これまでの学びを通して大学入学後の複数の科学・技術領域を見通し、情報教育を基盤として複合的に工学系分野の専門を学ぶための基礎となる学力・技能、特に理数系における確かな知識を有する人
- (2) 思考力・判断力・表現力
  - ・課題を解決するための思考力・判断力を有する人
  - ・意見や考えを他者や社会に分かりやすく伝えるための表現力を有する人
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
  - ・他者を尊重し、その意見を受け入れる柔軟性、協調性を有する人
  - ・何事にも好奇心・探求心を持ち、創造力を身につけようとする真摯な態度を有する人

#### 【入学後の期待】

入学後には、自ら学び考える力を持ち、次の観点から、学術・産業研究を含む広範な工学系分野で活躍する自律的な技術者を目指すことを求める。

- (1) 自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- (2) 情報技術に関する基礎知識・技能と、メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、時代や社会が求める実践的な力を身につけること
- (3) 異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、課題を解決する能力へと高めること
- (4) 課題解決に向けて、他者と協働して取り組む能力や意見や考えを論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけること
- (5) 広範な視野で専門をより深化させ、産業や社会のニーズに即応できる実践力と創造性を養うこと

### 2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (2) 一般選抜（後期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (3) 学校推薦型選抜では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、目的意識や学修意欲などを面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4) 私費外国人留学生選抜では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価する。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (5) 第3年次推薦編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する基礎学力や専門に対する適性を面接と出願書類により評価する。あわせて、目的意識や学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6) 第3年次一般編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識などを学力検査により評価する。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

# 令和7年度 第3年次編入学学生募集要項

高等専門学校、短期大学の卒業生及びそれらと同等以上の学力を有するものと認められた者を対象に、豊かな教養と高度な専門教育を行ない、複合技術に熟達した優秀な技術者を養成するために編入学学生の募集を行ないます。

## 募集学科及び募集人員

募集学科	募集人員		合計	
	推薦編入学選抜			一般編入学選抜
	学校推薦	自己推薦		
システム工学科	10名		10名	

## 編入学時期及び編入学年次

編入学の時期は令和7年4月とし、第3年次へ入学するものです。

## 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、「推薦編入学選抜」と「一般編入学選抜」の方法で実施します。

「推薦編入学選抜」に関する事項は2頁に、「一般編入学選抜」に関する事項は3～4頁に、両編入学選抜に共通する事項は5～8頁に記載しています。

## 試験日程等の概要

	推薦編入学選抜	一般編入学選抜
出願期間	令和6年4月22日(月) ～4月24日(水)	令和6年6月10日(月) ～6月12日(水)
試験日	令和6年5月18日(土) [予備日] 5月25日(土)	令和6年6月29日(土)※1 [予備日] 7月6日(土)※2
合格発表	令和6年5月31日(金)	令和6年7月19日(金)
入学確約書提出期限	令和6年6月28日(金)	
入学意思確認書提出期限		令和6年9月30日(月)
入学手続期間	令和7年3月下旬(予定)	

自然災害等により各試験日に実施できないこととなった場合、予備日に試験を実施します。

その場合は、下記の和歌山大学システム工学部SNS及び和歌山大学システム工学部ホームページにてお知らせします。(SNSに書き込みをいただいても返信はいたしかねます)

システム工学部X (IHTwitter) : @sysWakayamaUniv

システム工学部ホームページ : <https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>

※1 : 受験者多数の場合は、6月29日(土)に筆記試験のみ実施し、6月30日(日)に面接を行うことがあります。

※2 : 受験者多数の場合は、7月6日(土)に筆記試験のみ実施し、7月7日(日)に面接を行うことがあります。

筆記試験と面接を分けて実施する場合は、出願期間終了後、3日以内(土日祝除く)に本学部のホームページ(<https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>)にて周知します。

# 推薦編入学選抜

## 1. 出願資格

合格した場合、入学を確約できる者で、学校推薦、自己推薦それぞれの要件を満たす者。

### ○学校推薦

高等専門学校又は短期大学を令和7年3月までに卒業見込みの者で、学業成績が上位に属し、出身学校長又は学長が責任をもって推薦できる者。

### ○自己推薦

次の各号のいずれかに該当することにより、自分自身を強くアピールすることができ、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めたい修学意欲があり、かつ、高等専門学校を令和7年3月までに卒業見込みの者。

- (a) 本学大学院システム工学研究科進学・修了後に、和歌山県又は大阪府で就労し、地域産業の発展に貢献する意欲のある者。
  - (b) 理数系科目又は志望するメジャーに関連する専門教育科目の学力に優れた者（数学オリンピック、物理オリンピックや全国高等学校総合文化祭（自然科学部門）などの入賞なども含みます）。
  - (c) 「ものづくり」（コンピュータプログラム、Webページなどのデジタルコンテンツも含みます）に関連した創作活動や各種コンテスト等において、各種団体等で表彰を受けた者、又はこれらの活動チームの統率や技術スタッフとして運営に積極的に携わった者。
  - (d) 修学生活におけるさまざまな活動を積極的に行った者。
- (注) (b)、(c)、及び(d)は参考となる資料（紙媒体に限ります）があれば添付してください。

## 2. 出願期間

令和6年4月22日（月）から4月24日（水）17時まで【必着】※郵送受付のみ

## 3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類等を総合し、100点満点で評価し判定します。

なお、面接では、学習意欲や専門に対する適性の試問、基礎学力（数学及び希望する専門分野）についての口頭試問を行います。

### (1) 入試の実施日時及び場所

日 時：令和6年5月18日（土）〔予備日：令和6年5月25日（土）〕  
13時10分より  
場 所：和歌山大学北1号館（システム工学部）

## 4. 合格発表

令和6年5月31日（金）10時

合格者の受験番号を北1号館（システム工学部）1階に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を郵便で送付し、学校推薦の場合は推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付します。また、システム工学部ホームページ（<https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>）に合格者の受験番号を掲載します。（掲載期間：合格発表日の正午から、1週間後の17時まで）

※これは本学部が情報提供の一環として行うものであり、公式の発表は、掲示もしくは合格通知で行います。また、回線や機器の状態により、閲覧できなくなる場合がありますので、ご注意ください。なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

## 5. 入学確約書の提出

合格者は下記の期限までに、和歌山大学長あてに「入学確約書」（合格通知書に同封します）を提出してください。

提出期限：令和6年6月28日（金）17時【必着】

## 6. その他

推薦編入学選抜に出願し不合格となった者は、本学部の一般編入学選抜を受験することができます。

なお、本学部の一般編入学選抜を受験する場合は、改めてこの募集要項に記載する所定の手続により出願しなければなりません。〔出願期間：令和6年6月10日（月）～6月12日（水）〕

# 一般編入学選抜

## 1. 出願資格

次の(1)～(8)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校、短期大学又は大学を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を取得した者又は令和7年3月までに学士の学位を取得する見込みの者。
- (3) 他の大学に2年以上在学(休学期間を除き、令和7年3月までに2年在学見込みを含む)し、62単位以上を修得した者(令和7年3月までに修得見込みを含む)。
- (4) 大学入学資格を有する者で、専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であるもの)を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者。
- (5) 大学入学資格を有する者で、高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者。
- (6) 外国において短期大学又は4年制の大学及びこれらに相当する大学を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者。
- (7) 外国において、4年制の大学又はこれに相当する大学に2年以上在学し(休学期間を除き、令和7年3月までに2年在学となる者も含む)、当該大学の卒業必要単位の2分の1以上を修得した者(令和7年3月までに修得見込みの者を含む)であって、かつ、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者(令和7年3月までに修了見込みの者を含む)。
- (8) 大学入学資格を有する者で、外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程をわが国において修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者。

(注) 出身学校及び出身大学における所属学科は問いません。

## 2. 出願期間

令和6年6月10日(月)から6月12日(水)17時まで【必着】

## 3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類200点、筆記試験200点の合計400点満点で評価し判定します。

なお、面接では、学習意欲や専門に対する適性の試問に加えて、基礎学力(希望する専門分野)についての口頭試問を行うことがあります。

### (1) 入試の実施日時及び場所

日 時：令和6年6月29日(土) [予備日：令和6年7月6日(土)]

※時刻は、「(2) 試験の実施時刻と内容」を参照。

場 所：和歌山大学北1号館(システム工学部)

## (2) 試験の実施時刻と内容

志望第1メジャー	筆記試験		面接 13:10～
	試験科目① 9:10～10:10 (60分)	試験科目② 10:40～12:10 (90分)	
ロボティクス	数 学	物 理	※面接集合時刻は、 必ず受験票で確認 してください
電子物理工学			
化学			
環境科学			
建築・ランドスケープ			
情報システムデザイン			
ネットワーク コンピューティング			
クロスリアリティ・ 情報デザイン			

## 4. 合格発表

令和6年7月19日（金）10時

合格者の受験番号を北1号館（システム工学部）1階に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を郵便で送付します。また、システム工学部ホームページ（<https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>）に合格者の受験番号を掲載します。（掲載期間：合格発表日の正午から、1週間後の17時まで）

※これは本学部が情報提供の一環として行うものであり、公式の発表は、掲示もしくは合格通知で行います。また、回線や機器の状態により、閲覧できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

## 5. 入学意思確認書の提出


合格者は下記の期限までに、和歌山大学長あてに「入学意思確認書」（合格通知書に同封します）を提出してください。提出しない者は、本学部に入学的意思がないものとして取り扱います。

提出期限：令和6年9月30日（月）17時【必着】

# 共 通 事 項

## 1. 出願方法等

### (1) 出願書類等

推薦編入学選抜 (学校推薦・自己推薦)	一 般 編 入 学 選 抜
<b>編入学願書 写真 受験票</b>	本学部所定用紙に所要事項を記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm。脱帽、上半身無背景のもの)を指定欄に貼付してください。 編入学願書裏面の所定欄に「振込金受付証明書(C票)」又は「収納証明書」を貼付してください。
<b>推 薦 書</b>	本学部所定様式により、学校推薦では出身学校長又は学長が作成したもの。自己推薦では本人が作成したもの。
<b>志望理由書</b>	本学部所定用紙により、入学志願者が作成したもの。
<b>卒業見込証明書</b>	<b>卒業又は修了(見込)証明書</b> 出身学校長又は学長が発行したもの。(出願資格(2),(3),(7)に該当する者を除く。 なお、出願資格(4)に該当する者は、以下のいずれかの書類を添付してください。 (a) 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了したこと(修了見込みであることを証明する書類)。 (b) 専門士の称号の付与が認められた専門課程を修了したこと(修了見込みであることを証明する書類)。
<b>調 査 書 又は成績証明書</b>	学校推薦の場合は調査書(本学部所定用紙)、自己推薦の場合は成績証明書。いずれも出身学校長又は学長が作成したもの。
	<b>学位授与(見込)証明書</b> 大学改革支援・学位授与機構(大学評価・学位授与機構)が発行したもの。(出願資格(2)に該当する者のみ)
	<b>在学期間証明書</b> 本学部所定様式。(出願資格(3),(7)に該当する者のみ) ※出身(在学)学校所定の様式は不可
	<b>最終学校の成績証明書</b> 出身学校長又は学長が発行したもの。
	<b>履修科目の一覧表</b> 現在、履修中の科目がある者のみ必要。ただし、学業成績証明書に記載されている場合は不要。(7)に該当する者は、卒業必要単位数がわかる資料(履修手引等)の写しと日本語訳を添付すること。(出願資格(3),(7)に該当する者のみ)
<b>検定料 30,000円</b> (右のいずれかの方法で納入してください)  (注) 出願書類受領後は、入学検定料の返還はできません。	① <b>金融機関</b> 別添の振込依頼書により金融機関の窓口にてお振込ください。 検定料納入の際に交付される「振込金受付証明書(C票)」を願書の所定の欄に貼付してください。 ② <b>コンビニエンスストア</b> 下記の支払期間中にお支払いください。 支払方法等につきましては、必ず下記HPでご確認ください。 検定料納入の際に交付される「収納証明書」を願書の所定の欄に貼付してください。 <b>【支払期間】</b> ・推薦 令和6年4月15日(月)0:00～4月23日(火)15:00 ・一般 令和6年6月1日(土)0:00～6月12日(水)15:00 <b>【支払方法等】</b> <a href="https://e-shiharai.net/">https://e-shiharai.net/</a> (右のQRコードからもアクセスできます)
	<b>【支払方法等】</b> 
<b>封 筒</b> (受験票交付用)	本学部所定の封筒に、入学志願者の受信場所住所、氏名、郵便番号を明記し、344円分の切手(速達料含む)を貼付してください。
<b>宛 名 票</b> (選考結果通知書等送付用)	本学部所定の用紙に、入学志願者の受信場所住所、氏名、郵便番号を明記し、提出してください。
	推薦編入学選抜に出願し、不合格となった受験者が一般編入学選抜に出願する際は、改めて上記の出願書類等を全て提出してください。

## (2) 出願方法

入学志願者は、「(1) 出願書類等」に示すものを一括して本学所定の封筒に入れ、所定の期日までに下記の提出先まで持参又は郵送により提出してください。

願書を郵送する場合は、本学所定の封筒により「書留・速達」にて郵送してください。

なお、窓口を持参する場合は、9時から17時の間で受け付けます。

また、学校推薦編入学選抜に出願される場合は、所属の学校から学校長名で一括して「書留・速達」にて郵送してください。その際、一括する封筒は各校で用意し、表面に「システム工学部第3年次編入学（推薦編入学選抜）入学願書〇名分在中」と朱書きしてください。

## (3) 出願書類の提出先及び問い合わせ先

和歌山大学学務課システム工学部係

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL 073-457-8021（直通）

## (4) 出願に際しての注意事項

- ①出願書類に不備のあるときは、受理しません。記入漏れや誤記のないように十分注意してください。
- ②受理した書類及び納付済の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、検定料納付後に出願書類を提出しなかった者、出願が受理されなかった者、誤って二重に納付した者については、検定料を返還しますので、出願期間終了後、1週間以内に上記(3)の問い合わせ先に連絡してください。  
※返還に係る振込手数料は、受取人負担となりますのでご了承ください。
- ③出願後の志望第1メジャーの変更は認めません。
- ④出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤出願後、「受信場所」に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑥出願に要する書類以外で、審査上必要な書類を請求する場合があります。

## (5) 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、試験の1ヵ月前までにその旨を上記(3)の問い合わせ先へ申し出てください。

また、出願受付締切後の不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。

## 2. 受験上の注意

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- ・受験票に記載する集合時刻を厳守してください。集合時刻に遅れた場合は、受験を放棄したものととして、取り扱うことがあります。（ただし、筆記試験で遅刻した場合は、試験開始後20分に限り受験を認めます。遅れた場合でも、試験時間は延長しません。）
- ・筆記試験の受験には、筆記用具が必要です。筆記用具や時計などの貸出は行いません。
- ・別途、受験上の指示が出ることがあります。



### 3. 入学手続

#### (1) 入学手続について

合格者には入学手続に関する書類を令和7年2月中旬に送付する予定です。  
また、入学手続期間は、令和7年3月下旬の予定です。

#### (2) 入学料及び授業料

- (a) 入学料 282,000円
- (b) 授業料 267,900円〈前期分〉

上記記載の金額は、令和6年度のもので、令和7年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

(注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

### 4. 編入学後の単位認定について

既修得単位の認定については、本学部の定めるところにより、当該出身学校のカリキュラム及び修得した科目を考慮して行いますが、場合によっては、認定し得る単位が限定されることがあり、**3年次に編入しても2年間で卒業できないことがあります**ので、履修中の科目はできるだけ多く単位を取得するようにしてください。

なお、修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍の4年を超えることはできません。

### 5. 入試情報の開示及び入試成績の本人開示

#### (1) 入試情報の開示

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数  
・ホームページに開示

#### (2) 入試成績の本人開示

##### ① 試験成績（得点・評価）

・開示方法等

◇受験者本人からの請求により開示します。

【窓口での受付】\*申請受付当日の開示はできません。

申請書（本学所定様式）に記入のうえ、申し込んでください。

《請求に必要なもの》

・本学受験票（原本） ※確認後返却します。

【郵送による受付】

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、必ず受験者本人が郵便（特定記録）で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 長形3号の返信用封筒（簡易書留郵便料として444円分の切手を貼付し、受験者本人あての住所・氏名を明記したもの）
- b. 申請書（本学所定様式）
- c. 本学受験票（原本） ※確認後返却します。

◇開示時期………令和6年8月20日から10月9日まで（郵送必着）

窓口での請求の場合は同期間内の月～水曜日（祝祭日を除く）、9時～17時

◇開示場所（請求先）…学務課システム工学部係（次項問い合わせ先）

②調査書（成績評価及び出欠の記録）

- ・閲覧のみ可（開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。）

**(3) 入試情報の問い合わせ先**

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課システム工学部係

TEL 073-457-8021（直通）

**6. その他**

- (1) 受験票等が試験の3日前までに到着しない場合には学務課システム工学部係まで問い合わせてください。
- (2) 募集要項は、学務課システム工学部係にて配布しています。入手ご希望の方は、ホームページを参照の上、ご請求いただくか、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。
- (3) 一般編入学選抜の過去問題については、著作物の利用許諾（本学ホームページ上での公開に限る）が得られたものから、下記のページにて公開します。  
<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/entrance/mondai.html>
- (4) 出願時のデータや、試験実施結果、入学手続きの状況等の個人データを入試に関する調査・研究のために利用することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、これらの個人データを利用する場合も、個人を特定する内容の資料や個人を特定できる資料を作成することはありません。

**【募集要項の請求先及び編入学に関する問い合わせ先】**

和歌山大学学務課システム工学部係

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

TEL 073-457-8021（直通）

E-mail [sygakumu@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:syagakumu@ml.wakayama-u.ac.jp)

ホームページ：<https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>

【ホームページ】



# 入学案内

## 学 部 の 紹 介

近年、科学技術の急速な発展に伴い、様々な工業技術が高度化・専門化してきました。また一方で、複数の専門分野の成果を複合的・横断的に応用することが、新しい技術開発や地域産業の再生につながるようになってきました。つまり、現在社会において、「高度な専門性」と「複数の技術領域を見通す力」の両方が求められています。このような産業界や社会の要請に、より柔軟に対応できるように、システム工学部では、それまでの5学科を1つの学科（システム工学科）に統合し、10の教育研究課程（メジャー）を設けました。これにより、学生自らが将来を志向し、各自の興味や資質に見合った2つのメジャーを主体的に選択すること（ダブルメジャー制）でコースを構成し、複数の専門分野を学ぶことができるようになりました。

さらに将来に目を向けると、情報関連技術を基盤とする先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であるSociety5.0に対応できる工学人材を創出することも求められるようになってきています。これを受けてシステム工学部では、令和5年度に向け、将来にわたる技術動向を精査して、メジャーを3つの大きな専門分野の括り（領域）に分類し、これまでの10メジャーを8メジャーに再編しました。主な特色として、情報教育を重視し、更なる充実を図るとともに、システム工学科で共通化します。これにより、専門分野にかかわらず、情報技術をベースとした広範かつ柔軟な専門性を養うことができます。また、2年終了時に、学部のみで4年制に加えて、学部から大学院博士前期課程までの一貫教育である6年制に進む選択も可能とします。6年制では、より高度かつ実践的な専門教育を行うことにより、複数の専門技術を有機的に融合させて課題の解決に導く能力をさらに高めることができます。なお、再編後もこれまでどおり、ダブルメジャー制によって、領域にとらわれずに複数の専門分野について学修することができます。

以下に、各メジャーの教育目的とメジャーの組み合わせによるコースをいくつか示します。

### ・ロボティクスメジャー

ロボットなどに代表されるメカトロニクス機器を効率的に設計し安全に運用するための技術を身につけます。対象となる分野は幅広く、ソフトウェアからハードウェアまで、機械+電気+情報をバランスよく学びます。

### ・電子物理工学メジャー

物理学、光工学、電気電子工学、材料工学などの分野を扱います。物質科学に関する基礎を身につけた上で、フォトンクスやエレクトロニクスの材料開発から応用技術を学びます。

### ・化学メジャー

身の回りでは、原子や分子の結びつきにより生命活動や様々な物質・材料形成が行われています。このような生命活動に関わる物質や、身の回りの物質・材料の性質を理解し、その創造や性能の発現、産業への応用に関する技術について学びます。

### ・環境科学メジャー

環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

### ・建築・ランドスケープメジャー

環境に配慮した建築について、インテリアデザインから都市計画まで、身近な自然から森林まで、様々なスケールや地域における環境と生活空間を対象として、自然と調和する技術や建築設計、地域づくりについて学びます。

### ・情報システムデザインメジャー

人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計・開発する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

### ・ネットワークコンピューティングメジャー

あらゆる人やモノがネットワーク接続されるデジタル社会において、人や社会を守り、新たな価値を創造する技能を身につけます。インターネットやモバイル通信だけでなく、センサを社会活用するIoT、情報セキュリティ、ネットワーク分析等について学びます。

### ・クロスリアリティ・情報デザインメジャー

現実世界と仮想世界（メタバース）が融合する時代に向けて、現実世界に働きかけるロボティクス、メタバースを実現するコンピュータグラフィックス（CG）、それらと人を繋ぐ仮想現実（VR）、拡張現実（AR）、ならびに情報デザインについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
メカトロニクス	・ロボティクス ・電子物理工学	機械、電機、自動車、精密機械、光学、医療応用機器、電子部品
知能機械システム	・ロボティクス ・情報学領域から1つを選択	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報通信産業、サービス産業
ナノテクノロジー	・電子物理工学 ・化学	半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、素材
先端情報ネットワーク	・情報システムデザイン ・ネットワークコンピューティング	情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・インフラ・AI・ネットワーク・セキュリティエンジニア
社会情報システム	・ネットワークコンピューティング ・クロスリアリティ・情報デザイン	情報通信産業を含む幅広い産業におけるネットワーク・インフラ・AI・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー
創造情報デザイン	・クロスリアリティ・情報デザイン ・情報システムデザイン	情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・AI・Web・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー
環境デザイン	・環境科学 ・建築・ランドスケープ	公務員（土木、建築、造園）、建築・住宅、環境プラント
環境化学	・環境科学 ・化学	化学・環境職公務員、環境プラント、化学メーカー

# 学 生 生 活

## 1. 入学料・授業料免除

令和2年4月1日より、文部科学省による高等教育の修学支援新制度が始まり、本学は文部科学省より令和元年9月20日大学等における修学支援に関する法律（令和元年法律第8号）による修学支援の対象機関となる大学として確認いただいております。

このことにより、高等教育の修学支援新制度による奨学金がプラスされた入学料・授業料免除を実施します。

詳細は、学生センターホームページ（授業料/経済援助ページ）をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>



## 2. 奨学金

### 日本学生支援機構奨学金（給付奨学金・貸与奨学金）

詳細は、学生センターホームページ（授業料/経済援助ページ）をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>

## 3. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合専属提携店（073-456-4155）でも行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000～45,000円程度です。

## 4. ノートパソコンの準備

本学では、個人所有のノートパソコンを活用した授業が実施されています。また、履修登録やレポート及び論文の作成・提出など数多くの機会にパソコンとインターネットを活用しますので、入学までに各自でノートパソコンを必ずご準備ください。

なお、本学ではMicrosoftと包括ライセンス契約を結んでおり、Microsoft 365（Word, Excel, PowerPoint他）を在学中無償で利用することができます。また、学内には無線LANを整備していますので、在学中自由に利用することができます。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

[https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/essential\\_pc/](https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/essential_pc/)

QRコード



## 5. 学生生活に関する問合せ先

問 合 せ 事 項	問 合 せ 先
入学料免除, 授業料免除	学生センター (学生支援課) TEL 073-457-7128
奨学金	学生センター (学生支援課) TEL 073-457-7110
ノートパソコンの準備	学術情報センター (学術情報課) TEL 073-457-7177

